

浄土真宗本願寺派 西光寺報

「お寺に参るのはまだ早い?」

慈光照護のもと、門信徒の皆様にはますます
すご清祥にお念仏ご相続のことと慶賀に存
じます。

さて、寺の前の掲示板の今月の掲示伝道に
は、不思議な言葉が書いてあります。それ
は、「まもなく終点です。お忘れ物のないよ
うお支度ください。」というものです。飲み
会に参加して、酔っぱらってえちぜん鉄道に
乗って帰るといつい寝てしまい、何度三国
港駅から歩いて帰ったかわかりません。い
や、そんなことは別にして、このアナウン
スの意味するところはこういうことかご一
緒に考えてみましょう。

私たち生き物は、生まれたら必ず死んでゆ
くさだめです。これはもうすべての生き物
に平等です。ゴキブリもカラスも人間も(富
める人も貧しい人も)皆同じです。しかし、
この娑婆世界の終わりがいつやってくるか
は誰にもわかりません。蓮如さまも白骨の
御文章の中で「今日ともしらず、明日ともし

永代経にお参りください。

6月26日(火) ヒル2時・ヨル7時

らず」とおっしゃっています。しかし、普段
の生活の中で、私たちは自分のいのちの終着
駅がどこで、いつ到着するのかなどにはま
たく無頓着に生きています。「われや先、人
や先」の言葉を聞いても、「人や先、人や先」
になつてしまっているのではないでしょう
か。でも、終点にはいつ到着するのかわから
ないのです。ひよつとしたらアナウン
スするかもしれないませぬよ。

このような無常の世を生きる私たちが、
「忘れ物のないよう」にするとはどういうこ
とでしょうか。それは、「いつどんなこと
になつてもあわてることのない生き方」、「死
んだらどうなると心配する必要のない生き方」
をいただきたいましようということ。あて
にならないもの(無常)をあてにして生きる
のではなく、どんなものにもさまたげられな
い、永遠に変わることのない働き(常住な
るもの)をこの身に受けて、いただきたいの
ちを精いっぱい輝かせて生きましようとい
うことです。それが『法(仏法)』なのです。
仏法は法則です。法則とは普遍的・必然的関
係ですから、万有引力の法則で「すべての物

体は引き寄せあう」ように、仏法は私たち
「生きとし生けるものすべて(一切有情)」に
今まさに働いてくださっています。仏法を
恵まれていることに気づかされて生きる生
き方は、大きな安心に包まれて生きるとい
うことかと思えます。

しかし、私たちは普段、「自分で稼いで、自
分の力で生きています」と思っています。最近
は「自分の力を信じて」などという言葉がそ
こかしこで聞かれます。だいたいは世界で
活躍しているスポーツ選手や有名人がテレ
ビの画面やポスターで語りかけています。
以前学校に勤めているときに、有名なサッ
カー選手の姿の写ったポスターが貼られて
いて、そこには、「あきらめるな。夢は必ずか
なう。」と書いてありました。夢をもつこと、
それに向かつて努力する姿勢はとても大切
だと思えますが、「夢は必ずかなう」と言つて
しまつてはどうかと思えます。自分の力を
信じて頑張つても、挫折することもあ
るでしょう。夢を信じて努力しても、かなわ
ない人の方が圧倒的に多いはず。そんなと
き、自分で自分を見捨ててしまひそうになる

ときにも、絶対に私を見捨てることのない阿弥陀さまの**大悲**が、いままさに私に届いていることを、しっかりと聞かせていただいで生きようではありませんか。蓮**上人**も「**仏法は若きときにたしなめ**」と教えてくださっています。「お寺に参るのはまだ早い」とか、「忙しいから」なんて言っていると、間に合いません!どうか、ご家族のみなさんにも、この新聞を読んでいただき、仏教は死んでからの話ではない、今しっかりと間違いないものに遇つていこうという教えであることを知つていただき、お寺にお参りいただきたいと念じております。

※**娑婆世界**……娑婆とはインドの昔の言葉「サハー」の音訳です。和訳すると「堪忍土」となり、『耐え忍ぶ世界』つまり**煩惱**や苦しみで充ちたこの世のことを表します。

「永代経法要のご案内」

日	14時〜	19時〜
26日 (火)	速夜 佛説無量寿経 四十八願 法話二席	新制 初夜 佛説観無量寿経 法話一席

ご法話
福井市教應寺住職
本願寺布教使

奥田 順誓師です。

なお、昨年見合わせていただいたおりました『御**仏供米**』の袋ですが、これまでのように布で作つてお配りするのはやめようと思ひます。ただ、ご門徒さんの、「仏さまにお米をお供えしたい」「このお米でお**仏飯**を炊いてお供えしてほしい」というお気持ちは大切にしていきたいと思ひます。先日、あるお寺の永代経にお参りしましたら、写真のように**レジ袋**を重ねたものにお米を入れてお供えして下さつていました。西光寺でもこのようにしたいと思ひます。お米をお供えしたい方は、袋が破れないよう養生して、お名前を書いて寺にお持ちください。



「布教大会があります」

来る7月11日(水)に本願寺福井別院(西別院)にて福井教区布教団の第一回布教大会が厳修されます。日頃お寺にお参りしても、なかなかたくさんのお話の法話が聴聞できずのわけではありませんが、この日は4人の布教使の先生方のお話を聴聞することができます。また、そのあとには話し合い法座と

いつて、日頃気になつていられるけれどもなかなか聞けないことや、法話の中での質問などを気軽に話し合える時間も持たれます。この機会に気軽に参りしてみませんか?私(若院)も参加しますので、ご希望があれば車でお迎えに参りますよ。

「正信偈の会まだまだ募集中」

おかげさまで、この会も第6回となります。今月28日(木)の午後7時より、西光寺本堂にて行います。参加ご希望の方は、メールか電話でお知らせください。お念珠と聖典(寺にもあります)と筆記用具を忘れずに!

「編集後記」

寒い寒いと文句を言っていたのも束の間、こんどは暑い暑いと文句を言う季節になりました。一生文句を言つて終わつてはいけないなあと思ひながらもやっぱり口から文句が出る**凡夫**の私でした。その私の口からお念仏が出てくださるのが不思議ですね。ではまた次号で。

住職 内嶋洪淳(うちじま こうじゆん)
090-8261-3090
若院 内嶋淳浩(うちじま あつひろ)
090-8967-7902

※携帯電話に登録しましょう!